

## 宮古発

### 三陸鉄道入社式



去年4月に全線で運転を再開した三陸鉄道では、ともに18歳の2人の新入社員が被災地の復興を胸に社会人のスタートを切りました。宮古市出身の金森太我さん(写真左)は4年前の津波で自宅が全壊し、山田町出身の沼崎龍聖さん(写真右)もJR山田線の被災によりバスで高校に通学していました。被災地の復興に関わりたいと入社した2人は、久慈市の北リアス線運行部に配属され研修に入ります。(4/1 ニュースエコー)

去年4月に全線で運転を再開した三陸鉄道では、ともに18歳の2人の新入社員が被災地の復興を胸に社会人のスタートを切りました。宮古市出身の金森太我さん(写真左)は4年前の津波で自宅が全壊し、山田町出身の沼崎龍聖さん(写真右)もJR山田線の被災によりバスで高校に通学していました。被災地の復興に関わりたいと入社した2人は、久慈市の北リアス線運行部に配属され研修に入ります。(4/1 ニュースエコー)

## 陸前高田発

### 新園舎で入園式



津波で浸水した陸前高田市の保育園が高台に移転し、新しい園舎で入園式が行われました。入園式を行ったのは陸前高田市の広田保育園です。旧園舎には震災の際に60センチの津波が押し寄せましたが、その後も使用してきました。新園舎は旧園舎から300メートルほど離れた高台に建てられ、全園児が出席して入園式が行われました。関係者や保護者は高台移転に安どしていました。(4/4 ニュース)

## 宮古・大船渡発

### 全線再開から1年

三陸鉄道は全線で運転を再開してから1年を迎えます。4月4日は宮古駅で記念イベントが行われました。レトロ列車の到着に合わせ乗客に記念の缶バッジがプレゼントされ、駅前広場では毛ガニ汁が振る舞われました。また4月5日には大船渡市の盛駅に記念列車・ポケモン列車がお目見えしたほか、駅前広場ではキッチンカーが集まり、ホタテ焼きやラーメンなどを提供。訪れた人たちが沿線の味を楽しんでいました。(4/4、4/5 ニュース)



## 陸前高田発

### 新校舎で始業式



東日本大震災の津波で校舎が全壊した県立高田高校が、市内の高台に再建された新校舎で始業式を行いました。2年生と3年生323人が出席した式では横田昭彦校長が「この真新しい建物に命を吹き込むのはみなさんたち生徒や我々教職員の果たすべき役割、使命です」と生徒たちを激励しました。まちの復興は道半ばですが、生徒たちの姿は市民の大きな力となりそうです。(4/8 ニュースエコー)



## 大船渡発

### 湾口防波堤復旧工事



津波に破壊された大船渡港の湾口防波堤の復旧工事で、安定した構造のコンクリートブロック

を海底に設置する作業が報道陣に公開されました。大船渡港の湾口防波堤は国土交通省がおよそ200億円をかけて復旧工事を進めています。ブロックは鉄筋コンクリート製でアルファベットのTの字を逆さにしたような形で津波の速い流れにも耐えられる構造となっており、高さ9メートル、重さが643トンあります。湾口防波堤は来年度中の復旧完了を目指しています。

(4/8 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122